

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 7 部門第 3 区分
 【発行日】 平成 19 年 11 月 15 日 (2007.11.15)

【公開番号】 特開 2001-177520 (P2001-177520A)
 【公開日】 平成 13 年 6 月 29 日 (2001.6.29)
 【出願番号】 特願 2000-305724 (P2000-305724)
 【国際特許分類】

H O 4 L 9/32 (2006.01)

H O 4 L 12/28 (2006.01)

H O 4 L 29/06 (2006.01)

【F I】

H O 4 L 9/00 6 7 3 D

H O 4 L 12/28 2 0 0 Z

H O 4 L 13/00 3 0 5 Z

【手続補正書】
 【提出日】 平成 19 年 9 月 26 日 (2007.9.26)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 明細書
 【補正対象項目名】 特許請求の範囲
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 通信システムにおいて、少なくとも 2 つの装置間の通信をオーソライズする方法であり、オーソリゼーションプロセスを実行するステップを含み、前記通信をオーソライズするか否かの決定が、少なくとも一つのプロセスの少なくとも一つの部分に依存して行われる方法であって、

前記方法が、識別プロセスを実行するステップを含み、前記決定が、少なくとも前記識別プロセスの一部に依存し、少なくとも前記オーソリゼーションプロセスの一部に依存せずに行われることを特徴とする方法。

【請求項 2】 第 2 の装置と結合された第 1 の装置と、オーソリゼーション信号を受信するオーソリゼーション情報受信器と、少なくとも前記オーソリゼーション信号に依存してオーソリゼーションプロセスを実行し、少なくとも一つのプロセスに依存して、前記第 1 の装置と前記第 2 の装置と間の通信をオーソライズするか否かを決定するプロセッサとを含む通信システムであって、

前記通信システムが、識別信号を受信する識別情報受信器を含み、前記プロセッサが、少なくとも前記識別信号に依存して識別プロセスを実行し、少なくとも前記識別プロセスの一部に依存し、少なくとも前記オーソリゼーションプロセスの一部には依存せずに、前記決定を行うことを特徴とする通信システム。

【請求項 3】 前記第 1 の装置と第 2 の装置との間で信号を交換するために、前記第 1 の装置が、第 1 の送受信器を含み、前記第 2 の装置が、第 2 の送受信器を含むことを特徴とする請求項 2 に記載の通信システム。

【請求項 4】 前記第 1 の装置と結合されたネットワークを含むことを特徴とする請求項 3 に記載の通信システム。

【請求項 5】 前記ネットワークが、前記プロセッサと前記識別情報受信器とを含むことを特徴とする請求項 4 に記載の通信システム。

【請求項 6】 前記第 1 の装置が、前記プロセッサと前記識別情報受信器とを含むことを特徴とする請求項 4 に記載の通信システム。

【請求項 7】 前記ネットワークが、前記プロセッサを含み、前記第 1 の装置が、前

記識別情報受信器を含むことを特徴とする請求項４に記載の通信システム。

【請求項８】 前記ネットワークが、前記識別情報受信器を含み、前記第１の装置が、前記プロセッサを含むことを特徴とする請求項４に記載の通信システム。

【請求項９】 少なくともオーソリゼーション情報受信器を介して受信されるオーソリゼーション信号に依存して、オーソリゼーションプロセスを実行し、少なくとも一つのプロセスに依存して、第１の装置と第２の装置との間の通信をオーソライズするか否かの決定を行うプロセッサを備えた、第２の装置と結合された第１の装置であって、

前記プロセッサが、少なくとも識別情報受信器を介して受信される識別信号に依存して、識別プロセスを実行し、少なくとも前記識別プロセスの一部に依存し、少なくとも前記オーソリゼーションプロセスの一部に依存せずに、前記決定を行うように構成されることを特徴とする第１の装置。

【請求項１０】 前記第１の装置が、前記第２の装置を含むことを特徴とする請求項９に記載の第１の装置。